

麻績の里  
座光寺

舞台校舎竣工  
150年記念

外題

鎌倉三代記  
三浦別れの段

# 大鹿歌舞伎

## 舞台校舎特別公演



麻績の里 舞台校舎

令和6年

# 11/3 (日・祝)

開場 12:00 開演 13:00 終了予定 14時40分頃

会場

麻績の里 舞台校舎 飯田市座光寺2535

※雨天の場合は会場を座光寺小学校体育館に移して行います。

木戸銭

3,000円 (税込) 全席自由席

チケット販売  
プレイガイド

◎飯田市役所座光寺自治振興センター(☎0265-22-1401)  
平日8時30分～17時15分(祝祭日除く)

◎平安堂飯田店(☎0265-24-4545) / 平安堂座光寺店(☎0265-23-4646)



「鎌倉三代記 三浦別れの段」大鹿村 大磯神社にて

お問い合わせ先

飯田市役所座光寺自治振興センター  
飯田市座光寺2535

☎0265-22-1401 FAX.0265-22-1475

主催：飯田市座光寺地域自治会 麻績の里振興委員会 共催：大鹿歌舞伎保存会 後援：飯田市 / 飯田市教育委員会

# 麻績の里 舞台校舎 竣工150年

伊那谷は昔から地芝居が大変盛んな土地柄で、こゝ麻績の里座光寺でも若者の歌舞伎への憧れや情熱は大変なものでした。こうした歌舞伎への情熱と学校建設の必要性が相まって、明治7年(1874年)、歌舞伎舞台と学校を兼用する「舞台校舎」が完成し、以降、昭和59年(1984年)まで110年間にわたり使用されました。学校建築物としては県下最古で、農歌舞伎舞台としても県下最大級であり長野県宝に指定されています。



築150年の歴史を誇る舞台校舎(旧座光寺麻績学校校舎)

## 国重要無形民俗文化財 大鹿歌舞伎

映画「大鹿村騒動記」でその名を知られる大鹿歌舞伎。役者、太夫はもちろん化粧、着付、床山などすべて保存会で行うことが評価され、地芝居としては全国に先駆けて、国重要無形民俗文化財に指定されています。

平成9年4月、舞台校舎の解体修理工事の竣工を祝う「こけら落とし」として大鹿歌舞伎が招待、上演されました。以来27年ぶりの公演になります。

## 外題『鎌倉三代記 三浦別れの段』

豊臣家と徳川家の最後の決戦「大坂夏の陣」(1615年)を脚色した作品で、作者は近松半二。豊臣方で活躍した実在のふたりの英雄、木村重成と真田幸村(信繁)の戦死を、劇中では、三浦之助義村という美少年の最期に象徴させた点に、作者近松半二の工夫があります。

### あらすじ

舞台は近江国の三浦之助の母の住家。時は、坂本城(史実の大坂城)の落城も明日に迫った、その前夜。北条時政(史実の徳川家康)の娘・時姫(史実の孫・千姫)は、敵方の武将三浦之助を慕い、三浦之助の母を献身的に看病しております。そこへ三浦之助が戦場から駆け戻ります。兜に焚きしめられた名香から、時姫は三浦之助の戦死の決意を悟り、せめて今夜だけは一緒に居て欲しいと懇願しますが、拒絶されます。絶望して自害しようとする時姫に、三浦之助は夫婦となる条件として「父・時政を殺害せよ」と命じます。…時姫と三浦之助。忠義と恋、そして親へ情愛の板ばさみになって苦悩する姿を描きます。



鎌倉三代記 三浦別れの段

## 座席について(全席自由席)

歌舞伎鑑賞の座席は、舞台校舎前(「麻績の里舞台楼」横)の広場になります。地面に直接ブルーシートなど敷物を敷いてあります。座布団等をご持参いただくことをお勧めします。

## 駐車場について

駐車場は会場周辺に臨時の駐車場を設けますが、数に限りがあります。当日はお客様多数にて混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお出かけください。



※JR飯田線元善光寺駅から会場の舞台校舎までは徒歩15分です。